

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	血漿から濃縮した止血因子の有効な作製方法の確立 (有効なクリオプレシピテートの院内調製)
研究期間(西暦)	2019年度～2023年度
研究機関名	東京都立墨東病院 輸血科
研究責任者職氏名	部長 藤田浩

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

血液の成分の一つである血漿には、出血を止める止血物質が含まれています。出血している傷病者に対して、短い時間で、かつ有効に止血するために、血漿中に含まれる止血因子を濃縮したもの(クリオプレシピテートといいます)を投与することで、救命率、生活復帰率を上げることができます。今回の研究目的は、有効な止血因子の濃縮条件(過冷却、血漿の油成分(乳糜)混入の是非、乏クリオプレシピテートの再凍結融解など)を探求することです。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類: 血漿(規格外)

献血血液等の情報: なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

奈良県立医科大学附属病院 輸血部 松本雅則

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析: 行いません。 行います。

《研究方法》クリオプレシピテートを再凍結する際に、止血因子が破壊されないように過冷却(特別な冷蔵庫を使用して、本来凍結する温度で凍らないようにすること)します。血液凝固因子活性を測定して、過冷却、血漿の油成分(乳糜)混入の是非、乏クリオプレシピテート(クリオプリピシテートを採取した後の血漿)の再凍結融解などの効果を確認します。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号

31J0016

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都立墨東病院 輸血科
担当者	藤田浩
電話	03-3633-6151
Mail	hiroshi_fujita@tmhp.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。